



東京で学ぶ 京大の知 シリーズ25

私たちは、古来、日々の生活の中で時を測り、暮らしに活かしてきました。「生活の中の時」は、個々の人生に様々な影響を与えとともに幸福観にも深く通じるものです。

前回のシリーズ24では、「時を知る」として、理学系分野から時間についての研究を紹介しました。今回は、「時を考える」というテーマで、経済学や公共政策における時間、仏教における時間、古来の日の数え方について、人文系分野の研究者がお話しします。

私たちの文化や生活の基底にある「時間」について一緒に知り、考えてみましょう。



主催 京都大学 講演時間 各回 18時30分~20時

参加費無料



第1回
5月18日(木)
若井 克俊
経済学研究科
教授

経済学における 時間の捉え方

時間の価値は個人の評価に依存します。経済学では、各時点における消費の主観的価値にもとづいて時間の価値を捉えます。その際に、どのような基準を用いて消費を評価するのか、実験結果等を交えながら紹介します。



第2回
5月25日(木)
岡田 知弘
経済学研究科
教授

被災地の時間/ 未被災地の時間

東日本大震災から6年。被災地では「時が止まったまま」との声も聞こえてきます。他方で震災の「風化」現象が広がっています。災害復興を、時間と地域の視点から考えてみます。



第3回
6月1日(木)
宮崎 泉
文学研究科
教授

インド仏教と時間

宇宙の時間、生物の時間、時間の単位といったインド仏教の時間に関する議論を紹介します。そして、そういう議論が仏教の中でどういう意味を持つのか、その背景も考えていきます。



第4回
6月8日(木)
浅原 達郎
人文科学研究科
教授

日を数える

中国では、文字の記録の残るもっとも古い時代から干支で日を数えていました。干支とは、十干(甲乙丙丁等々)と十二支(子丑寅卯等々)の組み合わせで、六十で一周します。それがなんと現在まで続いており、その内容について紹介します。



■ 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

TEL: 03-5252-7070 FAX: 03-5252-7075 E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員80名、締め切りは4月21日(金)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。



！ スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。